



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4972 URL http://www.soken-ce.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 逢坂 紀行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 滝澤 清隆 (TEL) 03-3983-3268
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,033	△10.1	1,044	△6.1	878	△17.7	708	△12.7
2019年3月期第2四半期	15,605	14.7	1,111	△8.9	1,067	△12.4	811	△13.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 457百万円(△6.2%) 2019年3月期第2四半期 487百万円(△50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	85.57	—
2019年3月期第2四半期	97.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	35,351	22,470	63.6
2019年3月期	36,608	22,550	61.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 22,470百万円 2019年3月期 22,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△7.3	1,900	△10.1	1,650	△19.0	1,300	△11.1	157.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料10ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,300,000株	2019年3月期	8,300,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	83,924株	2019年3月期	13,924株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	8,276,459株	2019年3月期2Q	8,286,077株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、米中貿易摩擦の長期化・深刻化による中国の景気減速や、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの高まりなどから、世界経済の減速傾向が顕著になり、国内においても輸出や生産活動が低迷するなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、アジア地域での事業規模拡大と収益性向上、革新的な材料・技術開発による事業領域の拡大を果たすために、中国市場での大型液晶ディスプレイ関連分野の需要拡大に応じた生産能力増強や市場・顧客ニーズを先取りした製品開発・提案力の強化による既存事業の収益基盤の強化、高付加価値製品領域へのリソースシフトやグループ全体での販売・開発・生産体制の最適化等による事業構造改革の推進、技術革新が進む自動車・ヘルスケア分野等での他社協業など自前主義からの脱却による新たな事業領域の創出に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、中国の景気減速や液晶ディスプレイ関連の需要低迷の影響を受けてケミカルズの販売が減少したことなどにより、売上高は140億33百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

利益面では、原料価格や経費の低減に努めたものの、販売減による減益をカバーするには至らず、人民元安に伴う為替差損を計上したこともあり、経常利益は8億78百万円（前年同期比17.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億8百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高124億75百万円（前年同期比9.0%減）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、液晶ディスプレイ関連分野での生産調整等の影響を受けて販売数量が減少したことなどにより、売上高は78億77百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散フィルム用途向けは堅調に推移したものの、電子部品関連用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は12億80百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場における電子材料用途向けの販売数量が減少し、売上高は11億85百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

加工製品は、中国市場における機能性粘着テープの販売が電子情報機器用途の一部で回復したものの、総じて販売数量が減少したことにくわえ、人民元安の影響を受けて売上高は21億32百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

<装置システム>

装置システムについては、国内設備投資に慎重な動きが見られるなか、設備関連の工事完成高が前年同期を下回り、売上高は15億58百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて12億56百万円減少し、353億51百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、有価証券、たな卸資産が減少したことなどにより、前期末に比べ18億85百万円減少し、196億57百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ6億28百万円増加し、156億94百万円となりました。

一方、負債については支払手形及び買掛金、賞与引当金が減少したことなどにより、前期末に比べ11億77百万円減少し、128億81百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金が増加したものの、自己株式の取得、為替換算調整勘定の減少などにより、前期末に比べ79百万円減少し、224億70百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末61.6%から2.0ポイント増加し63.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前期末に比べ4億44百万円減少し、60億66百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、15億97百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益8億86百万円、減価償却費6億29百万円、売上債権の減少7億58百万円などによる増加と、仕入債務の減少5億87百万円などに伴う減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、13億78百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得12億68百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、6億50百万円となりました。

これは、主に長期借入金の返済1億20百万円、配当金の支払額4億54百万円などに伴う減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,010,851	3,566,283
受取手形及び売掛金	9,466,666	8,661,530
電子記録債権	505,887	444,013
有価証券	3,500,000	2,500,000
商品及び製品	3,673,515	3,027,324
仕掛品	49,794	104,197
原材料及び貯蔵品	1,035,909	1,053,997
その他	315,408	311,378
貸倒引当金	△14,761	△10,880
流動資産合計	21,543,270	19,657,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,109,841	14,107,608
減価償却累計額	△7,824,062	△7,975,989
建物及び構築物（純額）	6,285,778	6,131,619
機械装置及び運搬具	17,305,051	17,142,444
減価償却累計額	△13,870,264	△13,979,738
機械装置及び運搬具（純額）	3,434,786	3,162,706
土地	1,233,158	1,239,626
建設仮勘定	750,025	1,660,822
その他	2,438,876	2,495,364
減価償却累計額	△1,908,447	△1,933,363
その他（純額）	530,428	562,001
有形固定資産合計	12,234,177	12,756,776
無形固定資産		
その他	254,673	367,136
無形固定資産合計	254,673	367,136
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,735	976,528
関係会社出資金	159,753	163,161
繰延税金資産	830,346	810,805
その他	558,838	622,862
貸倒引当金	△3,120	△3,120
投資その他の資産合計	2,576,553	2,570,237
固定資産合計	15,065,404	15,694,151
資産合計	36,608,674	35,351,996

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,660,764	5,868,249
短期借入金	1,206,811	1,238,997
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	105,730	129,448
賞与引当金	584,821	403,818
役員賞与引当金	49,000	20,000
完成工事補償引当金	9,300	3,900
工事損失引当金	3,850	5,638
その他	1,903,983	1,797,361
流動負債合計	10,764,262	9,707,412
固定負債		
長期借入金	1,360,000	1,240,000
退職給付に係る負債	1,914,431	1,913,607
その他	19,841	20,387
固定負債合計	3,294,273	3,173,995
負債合計	14,058,535	12,881,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,383,088	3,391,214
利益剰余金	14,819,607	15,072,094
自己株式	△11,340	△100,373
株主資本合計	21,552,918	21,724,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,584	310,312
為替換算調整勘定	818,985	594,112
退職給付に係る調整累計額	△170,349	△158,334
その他の包括利益累計額合計	997,219	746,090
純資産合計	22,550,138	22,470,588
負債純資産合計	36,608,674	35,351,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	15,605,064	14,033,658
売上原価	11,054,157	9,553,407
売上総利益	4,550,907	4,480,250
販売費及び一般管理費	3,439,220	3,436,062
営業利益	1,111,687	1,044,187
営業外収益		
受取利息及び配当金	18,743	19,743
持分法による投資利益	1,720	8,784
補助金収入	42,687	29,231
雑収入	19,091	30,066
営業外収益合計	82,243	87,826
営業外費用		
支払利息	37,101	31,104
為替差損	78,740	189,411
雑損失	10,720	33,111
営業外費用合計	126,562	253,627
経常利益	1,067,368	878,386
特別利益		
固定資産売却益	730	—
投資有価証券売却益	—	16,135
特別利益合計	730	16,135
特別損失		
固定資産除売却損	8,495	7,780
特別損失合計	8,495	7,780
税金等調整前四半期純利益	1,059,603	886,741
法人税等	248,234	178,519
四半期純利益	811,368	708,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	811,368	708,221

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	811,368	708,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,152	△38,271
為替換算調整勘定	△343,177	△220,029
退職給付に係る調整額	16,080	12,015
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,313	△4,844
その他の包括利益合計	△324,257	△251,129
四半期包括利益	487,111	457,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	487,111	457,092

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,059,603	886,741
減価償却費	669,136	629,857
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,935	△3,865
賞与引当金の増減額(△は減少)	△221,522	△181,003
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24,503	16,788
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	4,600	△5,400
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△37,500	△29,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	209	1,788
受取利息及び受取配当金	△18,743	△19,743
支払利息	37,101	31,104
為替差損益(△は益)	37,951	84,412
補助金収入	△42,687	△29,231
固定資産除売却損益(△は益)	7,765	7,780
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△16,135
持分法による投資損益(△は益)	△1,720	△8,784
売上債権の増減額(△は増加)	△423,725	758,282
仕入債務の増減額(△は減少)	△295,297	△587,722
たな卸資産の増減額(△は増加)	△924	523,774
未払消費税等の増減額(△は減少)	81,533	△72,718
その他	△114,442	△317,080
小計	749,901	1,669,845
利息及び配当金の受取額	18,744	19,744
補助金の受取額	42,687	29,231
利息の支払額	△37,352	△32,254
法人税等の支払額	△342,504	△88,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	431,476	1,597,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△280,570	△1,268,453
有形固定資産の売却による収入	30	171
無形固定資産の取得による支出	△55,744	△130,024
投資有価証券の取得による支出	△8,405	△10,483
投資有価証券の売却による収入	—	29,519
その他	1,048	1,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△343,642	△1,378,180

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	41,725	21,086
長期借入金の返済による支出	△120,000	△120,000
自己株式の取得による支出	—	△97,177
配当金の支払額	△578,656	△454,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△656,931	△650,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57,990	△13,454
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△627,088	△444,567
現金及び現金同等物の期首残高	6,593,394	6,510,851
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,966,305	6,066,283

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,710,158	1,894,906	15,605,064	—	15,605,064
セグメント間の 内部売上高又は振替高	114	7,180	7,294	△7,294	—
計	13,710,273	1,902,086	15,612,359	△7,294	15,605,064
セグメント利益	953,486	124,790	1,078,276	33,410	1,111,687

(注) 1. セグメント利益の調整額33,410千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,475,389	1,558,268	14,033,658	—	14,033,658
セグメント間の 内部売上高又は振替高	175	95	270	△270	—
計	12,475,565	1,558,363	14,033,928	△270	14,033,658
セグメント利益	922,033	86,708	1,008,741	35,446	1,044,187

(注) 1. セグメント利益の調整額35,446千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。